



大地震被災家族への緊急支援

最終報告書

第2次支援：
仮設シェルターと職業トレーニング



作成：SAGUN



資料名 : 大地震被災家族への緊急支援
最終報告書
第2次支援：仮設シェルターと職業トレーニング

期 間 : 2015年9月1日～2016年4月30日

作成者 : カマル・フヤル
緊救援事業コーディネーター

提出月 : 2016年5月

著作権 : ©SAGUN /地球の木

目次

1.背景	1
2. 事業計画と目的	1
2.1 仮設シェルター	1
2.2 職業トレーニング	2
3. プログラムの実施過程	2
3.1 プログラムの実施過程	2
3.1.1 職業トレーニング	2
3.1.2 仮設シェルター	3
3.2 実施チーム	3
4. 事業の成果	4
4.1 仮設シェルター	4
4.2 職業トレーニング	5
4.3 主な成果	6
5.所感と今後の計画	6
5.1 主な所感	6
5.2 提案／今後の計画	6
6. 会計報告	7

1. 背景

2015年ネパールは2度の大地震を体験した。4月25日のマグニチュード7.8の大地震と5月12日のマグニチュード7.3の大地震である。その後も余震が続き、これらの地震による死者は、8,900人を超え、負傷者の数は22,493人に達した。政府の報告によると、602,257戸の住宅が倒壊し、285,099戸が破損した。10万人以上の人々が、数週間にわたって戸外での生活を余儀なくされ、約280万人が国内避難民となった。

大地震はまた、SAGUNの支援している行政村、マンガルタール、ポカリナラヤンスタン、カルパチョークや隣接する行政村にも深刻な被害をもたらした。状況調査によると、地域の98パーセントの家屋が損害を受けて、居住できない状態である。マンガルタール行政村一村を取り上げても、476戸が住める状態になく、家屋を解体しなくてはならない。SAGUNは、地震の後すぐに、緊急措置として、厚手の防水シートを各戸に配布した。しかし、防水シートは、被災した家族を雨や暑さ、湿気から守るための、命をつなぐための暫定的な処置に過ぎない。雨から身を守るためにトタンを使って仮設シェルターを作った家もあったが、他からの救援にアクセスすることができず、トタンなどの材料も持っていない最貧層の家庭は、雨季というのにシェルターもない災害弱者であった。SAGUNは、マンガルタール行政村とその周辺の村々に、直ちに仮設シェルターを提供する必要性があると判断した。

この状況に対応して、一回目の地震発生のおと SAGUN は、直ちにマンガルタールおよびその周辺の行政村で救済・復興支援を開始した。大地震後に実施したニーズ・アセスメント（被災者がどんな支援を求めているかを知るための調査と評価）の結果、地震を生き延びた人々（「被災者」という言葉を使わずに「サバイバー」と呼ぶ[訳者注]）に対する支援は、シェルター、学校の再建とヘルスケアを優先すべきということが分かったので、仮設シェルターの屋根にするトタン板を一番必要としている家族に配布する準備にとりかかることにした。

SAGUN は、マンガルタールおよびポカリナラヤンスタン行政村にある様々な地元の組織などと協力して事業計画書を作り、それを地球の木に伝えて支援を求めた。このように、地球の木と SAGUN は共同で、上記2村の「地震の被災家族に対する救済プログラム」を開始した。

2. 事業計画と目的

SAGUN と地球の木は、仮設シェルターの建設と職業訓練の2つ分野に特化した支援を行うことを決定した。目的は、雨、暑さ、村人たちが直面する様々な問題から2村の人々を守ることである。

2.1 仮設シェルター

SAGUN と地球の木は、自力で仮設シェルターの材料を買うことができない家庭、どこからも必要な支援を受けることができない、最も助けを必要とする家庭を支援対象とすることにした。SAGUN は、屋根用のトタン板を購入するための1世帯当たり15,000ネパールルピー（16,500円）の支援を提案した。

SAGUN はまた、ネパール政府から拠出される、仮設シェルター作りのための補助金を被災家族が受け取ることができるようにサポートする役割も担う。この補助金と併せると、地震を生き延びた人々は、5-6 人家族用の、台所付きのシェルターを建てることができる。最も貧しい家族、子どもや高齢者、女性を対象とする。選定基準を決めて実施する。

2.2 職業トレーニング

壊れた家を建て直すために大勢の石工と大工が必要となることが予想された。そこで、支援地域の若者に職業トレーニングを受けてもらう計画が持ち上がった。訓練を受けた若者は、地元の人々に奉仕するだけでなく、身に付けた技術を使って地元で働くことができる。この職業に関心を持つ地元の青年たちを対象に訓練が実施された。トレーニング期間は2カ月、実地訓練も行った。SAGUN は、技術教育・職業トレーニング協議会（CTEVT*）と協力して、同プログラムを行った。

[訳者注]

*CTEVT The Council for Technical Education and Vocational Training 技術教育・職業トレーニング協議会（CTEVT）は1989年に設立された、全国の技術・職業教育とトレーニング（TVET）部門の頂点となる自律的な機関であり、国家に必要な、専門性が高く熟練した人的資源を生み出すことを使命とする。主に政策立案、品質管理、能力を基本としたカリキュラムの準備、様々な職業の技術水準の設定や技能検定、調査研究、トレーニングのニーズアセスメントなどの事業を行う。24人の委員からなる委員会があり、9人の評議員からなる評議会がある。委員会、評議会の両方の長を教育相が務める。評議会には常勤の副会長と事務局を置く。

3. プログラムの実施過程

3.1 プログラムの実施過程

3.1.1 職業トレーニング

プログラム進行表	SAGUN が果たした主な役割
1. カブレ郡災害救済委員会（DDRC）にプログラム登録	<ul style="list-style-type: none"> • DDRC とミーティングを行い、プログラムの詳細を説明 • DDRC から承認を取得
2. SAGUN-マンガルタル協力委員会（SMCC）、マンガルタル行政村の各関係者に説明	<ul style="list-style-type: none"> • 職業トレーニングの目的を区の市民フォーラム・コーディネーター、地域の政党代表者などに説明 • 職業トレーニング参加者の選考基準を最終決定
3. 訓練機関と合意書を交わす	<ul style="list-style-type: none"> • インドレニ・ポリテクニク研究所と合意書を交わす。同研究所は、CTEVT 所属の技術職業トレーニング実施機関
4. トレーニング参加者の選考	<ul style="list-style-type: none"> • 応募期間：2週間 • 応募者のリストを作成 • すべての応募者と面接 • 最終的に5人（地球の木分担分）を選考

3.1.2.仮設シェルター

地球の木が担当した、マンガルトール行政村の1区、8区と、ポカリナラヤンスタン行政村4区のコカム村の住民たちのための仮設シェルターは、以下の要領で建てられた。

プログラム進行表	SAGUN が果たした主な役割
カブレ郡災害救済委員会 (DDRC) にプログラム登録	<ul style="list-style-type: none"> • DDRC とミーティングを行い、プログラムの詳細を説明。 • DDRC から承認を取得。
仮設シェルター建設実行委員会のミーティング開催 目標と家族の選定基準を設定	<ul style="list-style-type: none"> • SAGUN-マンガルトール協力委員会 (SMCC) メンバー、区の市民フォーラム・コーディネーター、政党代表、SAGUN の代表など様々なセクターから実行委員会を構成 • マンガルトール行政村の主だった団体・主要人物を集めて会議を行い、2つのプログラムの目標を議論 • 仮設シェルター支援を受ける家族と職業トレーニング参加者の選考基準を決定
支援を受ける家族の選考 (第1段階)	<ul style="list-style-type: none"> • 区の市民フォーラム・コーディネーターが政党の代表たちの協力でミーティングを開催。区ごとに選考基準に該当する受益者を挙げた • 選考された家族の名前を仮設シェルター建設実行委員会の中で発表
調査を実施	<ul style="list-style-type: none"> • SAGUN は、仮設シェルター建設実行委員会から受益者リストを受領 • SAGUN のローカル・ファシリテーターが個別調査を実施 • 家族の詳しい情報を収集
仮設シェルターと職業トレーニング (参加者の最終選考)	<ul style="list-style-type: none"> • 世帯別調査の結果を実行チームに説明 • 各世帯の状況を話し合う • 各世帯の状況を選考基準に照らして検証 • 最終選考に残った家族のリストを用意
グループ作り	<ul style="list-style-type: none"> • 各区に仮設シェルター建設のためのグループを作る • チームと共にオリエンテーション・プログラムを行う • 仮設シェルターを作る過程、グループメンバーの役割などを話し合う
資材の購入	<ul style="list-style-type: none"> • トタン板を購入 • モラングの工場からマンガルトールにトタン板を運搬
仮設シェルターの建設	<ul style="list-style-type: none"> • トタン板を各区に運ぶ • グループメンバーは、トタン板を持ち帰る • 仮設シェルターを建設 • SAGUN のローカル・ファシリテーターが、建築をサポートし、建築過程を経過観察する。

3.2 実施チーム

以下のチームメンバーが、救援プログラムの実施に加わった。

救援プログラム・コーディネーター

救援プログラム・コーディネーターは、プログラムの進行において以下の責任を担った。

- 地球の木と協力して、定期的な連絡、報告の共有、提案の収集などを行った。

- ・ 地域組織のミーティング：地域で開催されるミーティングに参加する。
- ・ 区の市民フォーラム、SAGUN-マンガルトール協力委員会、政党などの地域の組織と協力して、支援を受ける家族やトレーニング参加者の選考基準を作るのを手伝う。
- ・ ローカル・ファシリテーターがプログラム実施の手順を策定するのを手伝う。
- ・ ローカル・ファシリテーターがプログラムを実施するのをサポートする。
- ・ SAGUN 理事会と定期的に連絡を取る。

ローカル・ファシリテーター

ローカル・ファシリテーターは、プログラムの進行において以下の責任を担った。

・ 様々な段階で組織されるミーティングに参加し、プログラムが効果的に実施されるように助言を与える。

- ・ 受益世帯にプログラムの説明をし、グループに分ける。
- ・ 行政村レベルの関係者全員と定期的に連絡を取る：プログラムの進捗状況を伝え、意見を集める。
- ・ プログラム実施の過程で、地域ごとのグループを作り、サポートできるようにする。
- ・ SMCC と定期的に連絡を取る。プログラムの進捗状況を伝え、助言を集める。
- ・ 報告書を作り、プログラム・コーディネーターに報告する。

他の SAGUN メンバーの役割

- ・ 郡開発委員会（DDC）や郡都にある他の機関とのミーティングに参加して、プログラム実施の承認を得る。
- ・ 仮設シェルターの支援を受ける家族、職業トレーニング参加者の選考基準に関してアドバイスをする。
- ・ 職業トレーニングの参加者をサポートする。
- ・ プログラムの実施に関わるチームの精神的サポートをする。

4. 事業の成果

この後の報告は、「仮設シェルター」と「職業トレーニング」の成果について述べる。

4.1 仮設シェルター

仮設シェルター支援の主な結果は以下の通りである。

- ・ マンガルトール行政村の計 95 世帯が当支援を受けた。当初、SMCC は他の関係者と連携して 105 世帯を選定した。しかし、10 世帯が他の機関の支援を受けることが決まったため当支援を辞退した。
- ・ ポカリナラヤンスタン行政村第 4 区のコカム地区において、SAGUN は村落開発委員会の委員長、と区市民フォーラムのメンバーと共に 50 世帯の貧困家庭を選び、仮設シェルター支援を実施した。

- ・ SAGUN はシェルター建設のため、各家庭に 2 巻のトタンシートを提供した。

表 1: 支援した仮設シェルター件数

区	世帯数	支援した世帯数	備考
1	18	4	
2	39		
3	53		
4	69		
5	134		
6	86		
7 & 9	373		
コカム地区	75	50	ポカリナラヤンスタン行政村
8	201	91	
合計	1048	145	

4.2 職業トレーニング

職業トレーニングの結果は以下の通りである。

- ・ 村人の要望に応え、SAGUN は大工（2 ヶ月間）と石工（1 ヶ月間）のトレーニングをマンガルタール行政村の若者に対して実施した。
- ・ 地球の木が支援したのは 19 人のうち 5 人で、大工トレーニングに 2 人、石工トレーニングに 3 人が参加した。大工 2 人が第 8 区から、石工 2 人が第 3 区からと 1 人が第 4 区から参加した。

[訳者注：各行政村は 9 つの区に分けられている]

表 2: トレーニング支援

S. N.	区	名前	研修員	
			石工	大工
1	8	ウッタム・タパ・マガル		
2	8	ゴクル・タパ・マガル		
3	3	クンサン・タマン		
4	3	ビム・ラマ		
5	4	サラム・シン・タマン		
合計			3 人	2 人

4.3 主な成果

- すべての関係者つまり、SAGUN-マンガルトール協力委員会（SMCC）、区の市民フォーラム（WCF）、各政党代表者たちは当事業実施チームが設定した実施工程や対象家庭の選考基準が実際的であると高く評価し、シェルター建設事業へ協力してくれた。このことにより、当事業は地域の中で目立った争いごとを起こすことなく、完了することができた。
- 仮設シェルターにより、地震によって被害を受けた貧しい家庭が雨や暑さから身を守ることができた。
- 技術トレーニングを受けた研修員全員がトレーニングを完了することができた。脱落者が一人もいなかったことは、この研修が成功であったことの一つの指標と言える。
- 研修終了後、全員が仕事を得ることができた。タクレ地区の2名の石工の研修員はバイオガス工場建設に関わっている。第4区の研修員は自分の家を建設中である。

5. 所感と今後の計画

5.1 主な所感

- 仮設シェルター事業は、経済的に困難な家庭を、雨や暑さ、その他の起こりうる苦難から守るために効果があった。当事業から支援を受けたすべての世帯が仮設シェルターを建設した。
- インドによる国境封鎖のため建設材料が不足し、事業の進捗に影響を与えた。同様に、資材の不足（地震とに加え、その後の国境封鎖による）が建設計画を遅らせることにつながった。
- 遅れたとは言え、定期的に対象家庭を訪れ、フォローアップを行ったことが、期日内に完成させることに寄与した。
- 職業トレーニングは地域の人々に高く評価された。村人たちが「耐震性のある家屋」を建てる際に研修員たちが支援してくれるとあって、とても役立つということがわかった。さらに、研修を受けたことにより、ほとんどの研修員が仕事を得たり、雇用されたりしたことである。
- ポカリナラヤンスタン村コカム地区の人々からも SAGUN にこのような若者向けの職業訓練をしてほしいと要望があった。

5.2 提案／今後の計画

- 村人たちは村の若者向けの職業トレーニングを再度希望している。SAGUN は近いうちに、近隣の行政村でも同様の研修を実施する計画である。
- SAGUN は、トレーニングを受けた大工・石工と村の大工・石工の合同ミーティングを開催する計画である。これにより、学び合うことができるだけでなく、将来的に協働することも可能である。
- SAGUN は研修を終えた人たち全員が、CTEVT が間もなく実施する予定の技術検定を受けることを奨励している。この検定に合格すると正式な認定書を受け取りことができ、ネパール国内はもちろん外国（主にマレーシアと湾岸諸国）における就職にも有効である。
- SAGUN は、地震の被害を受けた人たちに対する収入創出のための集中的な計画を立てるために、基礎調査及び参加型計画立案を村人たちと行う計画を立てている。

6. 会計報告

単位：ネパールルピー（2015年7月1 NRs. =約 1.2 円）

	項目	単位	受益者	単位あたり (NRs)	予算 (NRs)	実際	決算額	残額
A	仮設シェルター マンガルタール 行政村(100)と ポカリナラヤン スタン(45): 合計 145 世帯	世帯 数	135	15000	2,025,000	145	2,174,994.09	-149,994.09
B	市場から村まで の資材運搬費 (仮設シェルタ ー用のトタン板 などの資材)				100,000		99,900	100
C	マンガルタール 村での職業トレ ーニング(食事/ 宿泊, リソース パーソン、道 具、機材、トレ ーニング場、実 地訓練)	若者 の 人数	5	100,00 0	500,000	5	501,750.73	-1,750.73
D	交通費、ボラン ティア動員				40,000		40,000	0
E	緊急・復興担当 コーディネータ ー	月	4	20,000	80,000	5	100,000	-20,000
F	ローカル・ファ シリテーター	月	4	15,000	60,000	4	60,000	0
G	管理運営費・ロ ジスティクス				100,000		46,948	53,052
H	「防災訓練」	回数	6	20,000	120,000	0	0	120,000
	総合計				3,025,000		3,023,593	1,407



支援対象候補者から聞き取り



村の委員会メンバーと話し合い



ラダさんのシェルター



チョトラバハドゥールさんのシェルター



職業トレーニングで建てた耐震性のある住宅



修了式で大工道具一式を贈呈




特定非営利活動法人 **地球の木**

Website <http://e-tree.jp>

〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町1-3-3 フェニックス関内2F

TEL 045-228-1575 FAX 045-228-1578 E_mail chikyunoki@e-tree.jp

 <http://www.facebook.com/chikyunoki> Facebookでの「いいね!」をお待ちしています。

地球の木は認定 NPO 法人です。地球の木へのご寄付は所得税等の控除の対象となります。